

喫煙習慣と歯周病との関連

【背景】

喫煙と歯周病との関連に関する疫学研究の多くは、能動喫煙に焦点が当てられています。今回、九州・沖縄母子保健研究のデータを活用して、能動喫煙だけでなく、職場や家庭における受動喫煙と歯周病との関連について解析しました。

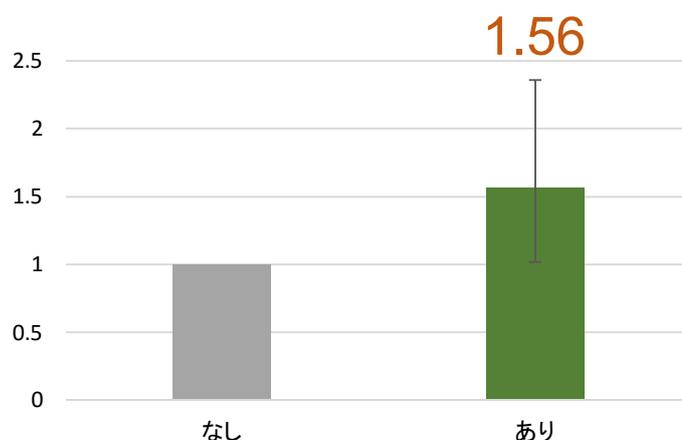
【方法】

九州・沖縄母子保健研究のベースライン調査に参加頂き、出産後 1 年までの間に歯周ポケット測定
のデータが得られた 1177 名の女性うち、今回の解析に使用する変数に欠損のない 1167 名の女性
を対象としました。喫煙及びその他の情報は自記式質問調査票から得ました。年齢、居住地域、家
計の収入、教育歴、歯磨き頻度、歯間ブラシの使用の有無について補正しました。

【結果】

喫煙歴無しに比較すると、喫煙歴のある
場合の調整済みオッズ比は 1.56(95%信
頼区間: 1.02-2.36)と有意な正の関連を
認めました。

一方、職場及び家庭での受動喫煙と歯
周病との間には、統計学的に有意な関連
は認めませんでした。



【結論】

能動喫煙は歯周病と正の関連を認めましたが、受動喫煙は関連ありませんでした。受動喫煙と歯周
病との関連について、さらなるエビデンスの蓄積が必要です。

【出典】

Tanaka K, Miyake Y, Hanioka T, Arakawa M. Active and passive smoking and prevalence of periodontal
disease in young Japanese women. J Periodontal Res. 2013; 48: 600-5.